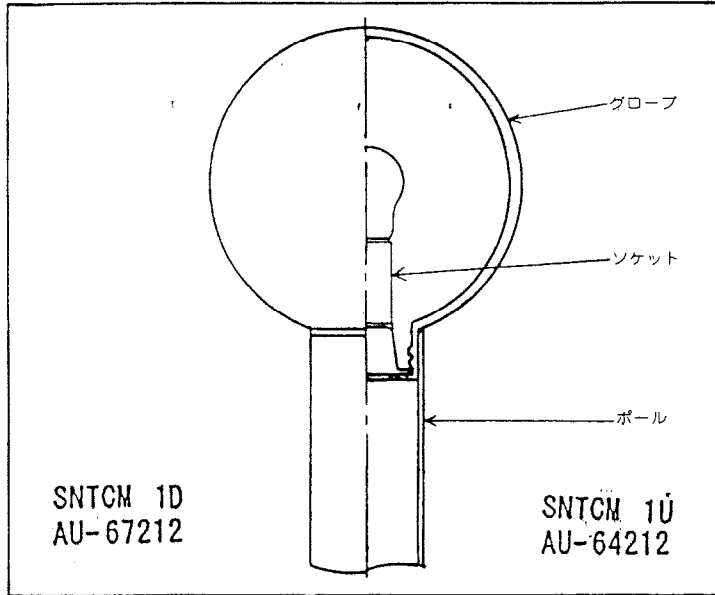


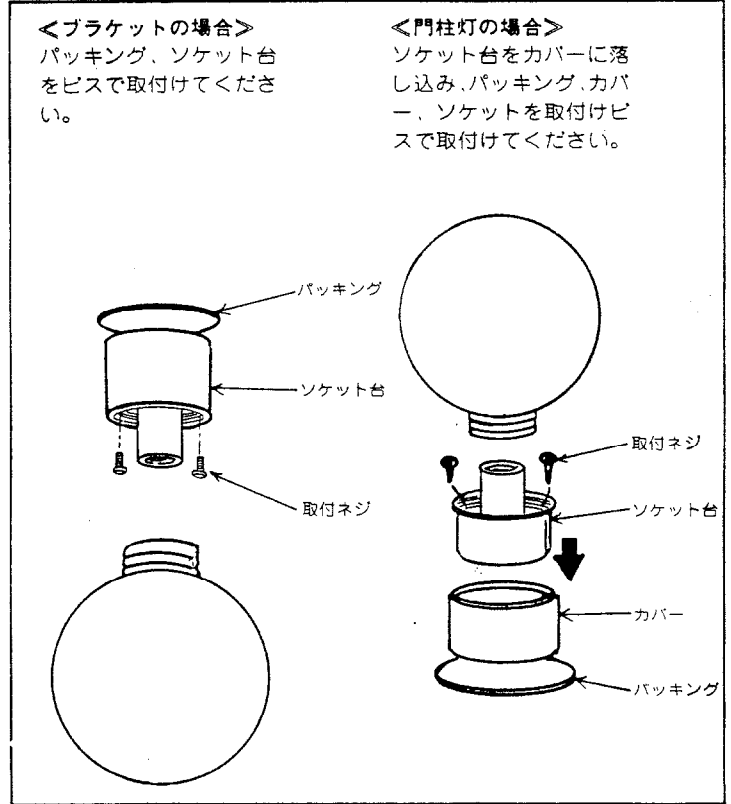
## 屋外灯(白熱灯)

このたびはコイズミ照明器具をお買上げくださいます。まことにありがとうございます。  
この説明書にはお買上げいただいた商品に該当しない項目についても記載してあります。

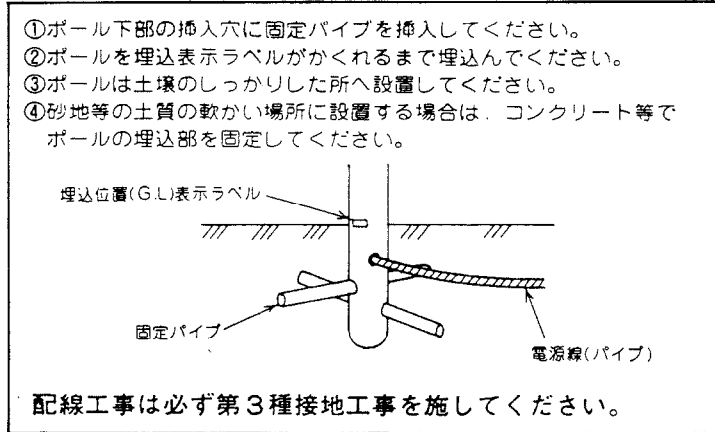
### ■各部の名称 (この図は一部省略抽象化した共通部品図です。)



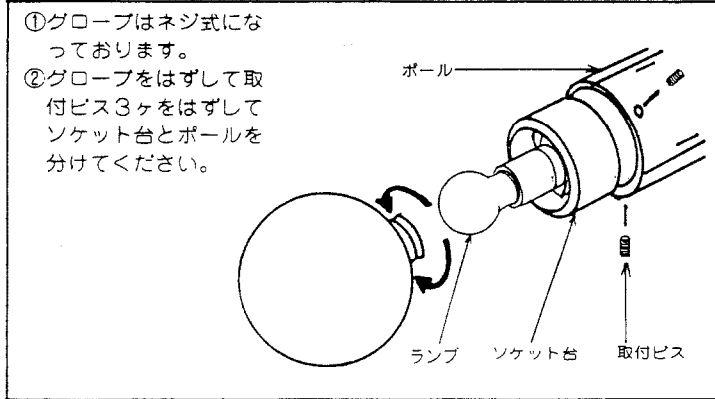
### ④ 器具の取付方法



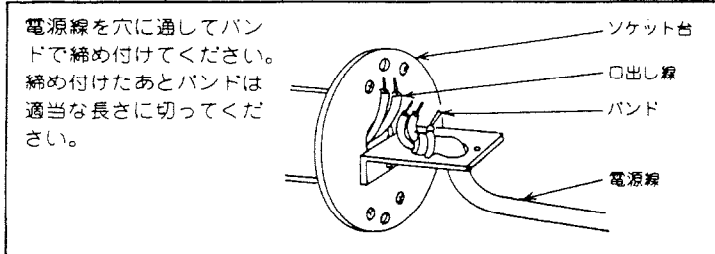
### ① ポールの接地方法



### ② 器具の分解方法



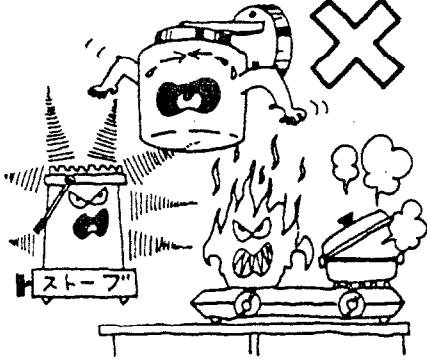
### ③ 電源線の取付方法



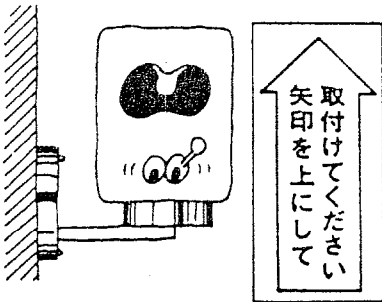
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくごらんの上、正しくご使用ください。

## ご注意と お手入れ

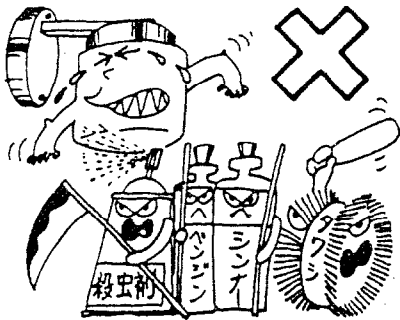
- 暖房器、ストーブの上での使用はやめてください。過熱・破損の原因になります。



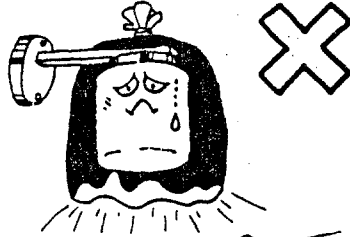
- 方向性シールのある器具は表示に従ってください。天井直付け器具の壁付けはやめてください。大変危険です。



- シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしますと変質しますのでご注意ください。



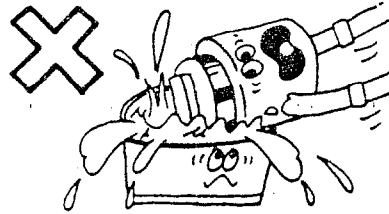
- 器具を布などでおおわないでください。器具が過熱損傷します。



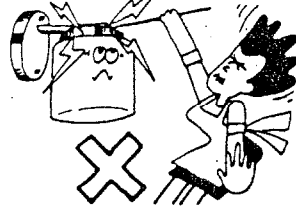
- お手入れ、白熱球の交換をする場合は、電源又はスイッチを切ってください。
- 器具が汚れた場合は、やわらかい布に石鹸水をつけて拭いてください。また、木や布のセードのほこりはハケやブラシで落してください。



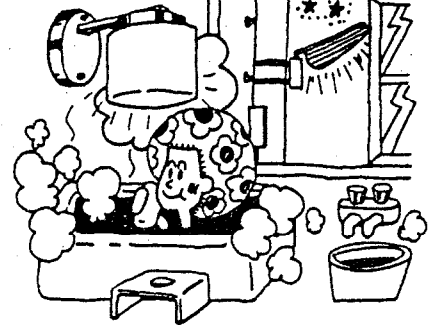
- 器具の丸ごと水洗はおやめください。



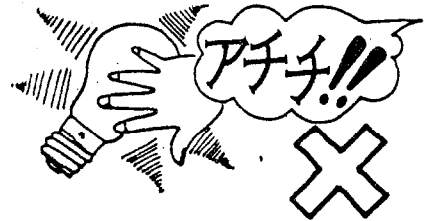
- 器具の改造はしないでください。
- 器具の構成部品の交換はしないでください。
- 器具のすきまや換気穴などに、金属類（ヘアピンや針金等）を絶対に差し込まないでください。



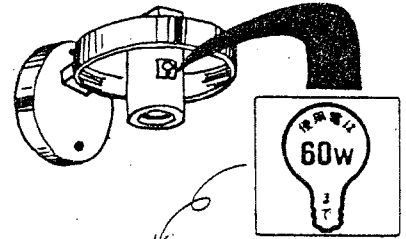
- 浴室・屋外には専用の器具をご使用ください。



- 消灯後すぐに手をふれないでください。

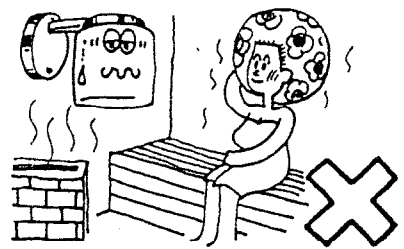


- 白熱球のW数については器具に表示してある白熱球をご使用ください。



一般球60Wで1灯

- サウナ風呂等の特殊な場所では使用しないでください。器具が過熱損傷します。



- 電源の工事は工事店・電気店におまかせください。しろうと工事は危険です。

# 一般的な安全上のご注意

安全にご使用いただくために、この注意書と添付の取扱説明書をあわせてご覧の上、正しくお使いください。またこれらを保管し、必要なときにお読みください。

- (1) この注意書は、照明器具全般について、守っていただきたい内容を記載しています。
- (2) 記載内容は、添付の取扱説明書と重複しているものもあります。

## ■取付前に必ず確認してください

### ⚠ 警告

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●器具の取付工事は、必ず工事店・電器店（有資格者）に依頼してください。<br/>→一般の方の電気工事は法律で禁止されています。</li> <li>●断熱施工S形埋込器具以外は、断熱施工ができません。<br/>→M形埋込器具等に断熱材をかぶせて施工しますと、火災の原因になります。</li> <li>●振動・衝撃・粉じん・腐食性ガス・可燃性ガスの影響を受ける場所およびサウナ風呂等の高温の場所では使用できません。<br/>→火災・絶縁不良・落下・過熱・けがの原因になります。</li> <li>●器具と被照射面の距離に制限のあるものがあります。本体表示並びに取扱説明書（カタログ）に従って取付けてください。<br/>→照射距離が制限よりも近すぎますと、被照射物の焼損・変質・変色の原因になります。</li> <li>●器具を取付ける個所が、器具重量に十分耐えるかどうか確認してください。<br/>→取付個所の強度に問題がありますと、落下・けがの原因になります。</li> <li>●器具の取付けには方向性があります。<br/>→一部の器具を除き、指定（写真の向き）以外の方向に取付けますと、火災・感電・落下・けがの原因になります。</li> <li>●特殊な用途（乗り物・医療用・写真撮影用・信号灯等）には使用できません。<br/>→事故の原因になります。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。<br/>→感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。</li> <li>●器具に使用するランプは器具ごとに定められています。器具に適合するランプを確かめてお取付けください。<br/>→適合しないランプを使用しますと、火災・やけどの原因になります。</li> <li>●器具やランプを布や紙等でおおわないでください。<br/>→火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。</li> <li>●器具のすきまや放熱穴等に金属類を差し込まないでください。<br/>→感電・故障の原因になります。</li> <li>●電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。<br/>→電源コードが損傷し、感電・故障の原因になります。</li> <li>●器具から煙が出たり変な臭いがしたときは、速やかに電源を切ってください。<br/>→放置しますと火災・落下・けがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。</li> <li>●お手入れやランプ交換の時は、必ず電源を切ってから行なってください。<br/>→感電の原因になります。</li> </ul> |
|---|---|

「警告」は人身事故につながる内容を示します。

「注意」は主に物損事故につながる内容を示します。

裏面も必ずお読みください。

## △ 注 意

- 器具には、屋内使用・屋外使用また、天井専用・壁面専用等の制限があります。使用場所・用途に適した器具をご使用ください。  
→守っていただかないと、火災・感電・絶縁不良・落下・けが・変形の原因になります。
- コントローラを使用する場合は、それぞれ適合したものの中から専用のものをお選びください。  
→適合していないと、火災・故障の原因になります。
- 一般の器具は、周囲温度5℃～35℃、湿度45%～85%の状況で使用してください。  
→高温・高湿の場合は、焼損・過熱・変形・変色の原因になります。低温の場合、蛍光灯は暗くなったり点灯しないことがあります。
- 器具取付け時、定格電圧・電源電圧・電源周波数の区分を必ず確認してください。  
→間違っただけで器具を使用しますと、ランプや安定器等の寿命が短くなったり、過熱して火災の原因になります。
- 器具に注意シールが貼り付けされている場合は、その指示に従ってください。  
→守っていただかないと、火災・感電・落下・けが・故障の原因になります。
- 一部の特殊な器具を除き、単品での使用を前提に設計・製造されています。  
→器具同士を密着したり集合させて使用しますと、火災・落下・けがの原因になります。
- 電気特性などが異なる場合もありますので、互換性の表示のある当社の器具以外との連結はしないでください。  
→互換性のない場合、火災・落下・けがの原因になります。
- 電気用品取締法にもとづき、器具の取付面の温度は90℃を超えないように設計・製造されていますが、取付面にご留意願います。  
→単色のピニルクロス等の場合、変色を起こすことがあります。
- 点灯中および消灯直後は器具やランプが高温になっています。素手で触らないでください。  
→やけどの原因になります。しばらくしてから取り扱ってください。
- 器具の下にストーブ等の高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。  
→火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。
- シンナーやベンジン等の揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。  
→故障・変質の原因になります。
- 器具やランプに着色等をしないでください。  
→焼損・過熱・故障の原因になります。
- 器具をまるごと水洗いしないでください。  
→感電・焼損・故障の原因になります。  
器具の汚れは乾いた柔らかい布、または中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
- 点検・清掃時には接合部のゆるみ、および器具やランプに損傷等がないことを確認してください。  
→異常がありましたら、購入店にご相談ください。
- ランプが点滅を繰り返すなど正常に点灯しない場合は、直ちに電源を切りランプを交換してください。  
→放置しますと、焼損・過熱・故障の原因になります。
- 照明器具の取り替え時期の目安は、通常の状態においては約8年～10年です。  
→長期間の使用あるいは過酷な使用の場合、火災・漏電・落下・焼損の原因になることがあります。
- ご使用后、器具を廃棄される場合は、清掃回収者への安全面に十分配慮して処理してください。  
→事故・けがの原因になります。

商品のお問い合わせは……フリーダイヤル 0120-5123-02

98

修理・アフターサービスのお問い合わせは……（電話番号は変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。）

- |                              |                              |                             |
|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| ●北海道サービスセンター ☎011 (813) 4297 | ●神奈川サービスセンター ☎0463 (95) 8008 | ●関西サービスセンター ☎0729 (85) 5521 |
| ●東北サービスセンター ☎022 (236) 4272  | ●中部サービスセンター ☎0568 (75) 5931  | ●岡山サービスセンター ☎086 (298) 3496 |
| ●関東サービスセンター ☎0489 (28) 4381  | ●北陸サービスセンター ☎0762 (49) 3205  | ●広島サービスセンター ☎082 (249) 1018 |
|                              |                              | ●九州サービスセンター ☎092 (622) 4010 |

小泉産業株式会社

照明事業部 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 ☎06(262)0861